

# 和地ひとみレポート No.215

## 市長が平成29年度の予算編成方針を発表

### 来年度予算編成は一層厳しい状況になることが見込まれる？

#### ■市政運営の「基本」は変わらず

…9月28日、市長より平成29年度の予算編成方針が発表されました。行政における予算編成は、決算→政策評価→市長からの予算編成方針→予算要求→予算要求の査定→予算案の決定という流れで行われ、前年度決算の認定後の10月から本格的に始まります。

#### ■平成29年度予算編成日程(予定)

H27年10月29日	見積書提出期限
H27年11月12日～27日	企画財政部長調整
H28年1月6日～8日	市長査定
H28年1月20日	予算内示
H28年2月16日	議案(予算案)送付

…行政の取組みは、下記の図のように、上位の計画＝最上位は「第二次基本構想」を下に行くほど具体化するという形で進められています。よって、予算は「大きな目標を目指すうえで、その年に何をするか」を決めるベースとなるもの。現在は、第二次基本構想、また、第四次基本計画をもとにしたうえで予算立てを行うため、大きな流れについては変化はありません。

#### ■前年度の予算編成方針と比較してみたら

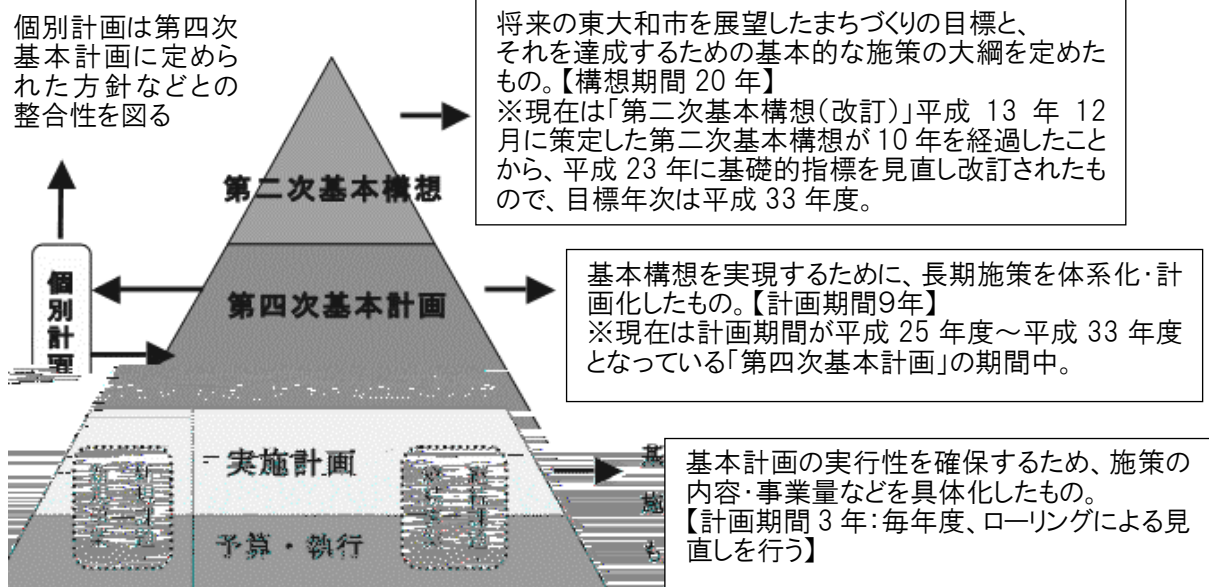
…しかし、ベースは変わらないとはいえ、毎年、各施策は進んでいますし、国や東京都の新たな施策の影響を受けることは多くあります。そこで、昨年度発表された「平成28年度の予算編成方針」と、このたび発表された「平成29年度の予算編成方針」を見比べてみました。

…基本方針についてはH28年度と一つも変化はありませんでした。

#### 【基本方針】

1. 開かれた市政の実現のため、施策の形成や課題の対応に当たっては、情報公開と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得ること。
2. 持続可能な市政の実現のため、新規施策の実施に当たっては、社会情勢等を見通す中、その効果等を検討し、「東大和市実施計画」における主要事業など取り組むべき課題に集中すること。
3. 「東大和市行政改革大綱」に基づき、全職員が歳入の確保に取り組むとともに、行政評価制度を推進することにより、効率的かつ効果的な事務事業の実施に努めること。

…そして裏面にある「優先施策」についても、大きな変化は感じませんでした。予算編成方針には、世の中、国、都の状況、東大和市の財政状況などの説明があり、それらを鑑みて「基本方針」などに沿って予算を作成するということが書かれていますが、実際に取り組んでいる「組織」の状況や「事業の進み具合(≡今までの取り組みの結果)」を鑑みたうえでの指示はありません。個人的には「今までの進み具合や結果を鑑み、来年度はこうする」というような、実感の持てる方針内容も少し入れるべきだと感じました。H29年度の予算編成方針は「予算編成は一層厳しい状況になることが見込まれる」と締めくくられています。既存事業の数字も新たな視点で適正かどうか見直しを行うと共に、大きな目標から逆算して、来年度はどのような取組みをするのか市民もイメージできるような予算にしてほしいと思います。



## ■平成29年度予算編成における優先施策（市長の平成29年度予算編成方針より）

※平成29年度予算編成で新規に掲げられたものは太字で(新規)と表示

### 『日本一子育てしやすいまちづくり』に係る施策

- ・子育て支援の一層の充実
  - ・教育内容と教育相談体制等の充実
  - ・新学校給食センターの運営と学校給食の充実
- (新規:H28年度は『地域力・教育力の向上』に「給食センターの建設等」と掲げられていたが、H29年度は「日本一子育てしやすいまちづくり」の施策にも明記)

### 『住みよい、活気あるまちづくり』に係る施策

- ・地域の特性を活かした魅力ある事業の展開
- ・旧日立航空機株式会社変電所の保存(新規)
- ・行政サービスの電子化による利便性の向上

### 『環境にやさしいまちづくり』に係る施策

- ・廃棄物の減量化施策の推進
- ・環境保全に向けた施策の導入

### 『福祉の行き渡ったまちづくり』に係る施策

- ・市民の健康増進を図る施策の推進
  - ・東大和市総合福祉センターにおける福祉サービスの充実
- (新規:H28年度は「開設と運営」だったが「充実」に)

### 『地域力・教育力の向上』に係る施策

- ・地域に開かれた学校運営の推進(新規)
- ・学校施設の環境整備等
- ・教育内容と教育相談体制等の充実(再掲)
- ・新学校給食センターの運営と学校給食の充実(再掲)

## ■東大和市の平成29年度予算の編成に向けて（市長の平成29年度予算編成方針より）

歳入では、市民税(個人)については、雇用や所得環境の改善による影響が継続して見込まれるところであるが、市民税(法人)に関しては、国全体の景気の動向や税制改正の影響に留意する必要があり、現時点で確たる見通しは難しい状況となっている。地方交付税については、国の「経済・財政再生計画」において、別枠加算や歳出特別枠といった歳入・歳出面の特別措置の見直し、継続的に検討されており、地方の一般財源の確保に関する事など、今後の地方財政計画等の内容を注視していく必要がある。



次に歳出であるが、扶助費においては、東大和市総合福祉センター「はーとふる」における福祉サービスの充実や、待機児童対策としての小規模保育園の開設等により、障害者福祉費及び児童福祉費が増加し、市債の元利償還費である公債費についても、増加する見込みとなっている。また、物件費については、予防接種や健康診査等の費用に加え、新学校給食センターの運営開始により増加が見込まれ、高齢化社会の進展等に伴う医療・介護に係る費用の伸びが、一般会計から関連する特別会計への繰出金に影響が及ぶところとなっている。

このような状況が見込まれるところではあるが、引き続き、「日本一子育てしやすいまちづくり」を進め、重要施策に対しては優先的に予算を配分する必要があると考えるので、関係する主要事業等の財源確保が大きな課題となり、その対応に困難を極めることも考えられる。以上のことから、平成29年度予算の編成は、一層厳しい状況になることが見込まれるが、持続可能な市政を目指す中、市民サービスの充実を図るため、職員一人ひとりには努力を積み重ねることを願い、その上でチームワークを発揮して課題の解決にあたってほしいと考えている。

また、引き続きになるが、開かれた市政の実現に向けては、情報公開と説明責任の徹底を図り、施策の形成にあたっては、その過程の透明性を確保することが、予算編成の基本姿勢と考えている。

平成29年度においても、抱える諸課題に対し各課が積極的な姿勢で臨み、取り分け市政の重要案件に関しては、職員が総力を挙げて取り組むことで、市民の理解と信頼が得られ、市政が発展するものと考えている。

そこで、平成29年度の予算編成に当たっては、前述した内容を認識し、次に掲げる優先施策と基本方針、別に定める予算編成要領等に基づき、予算見積書を作成されたい。

### 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

### 「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となり、月刊誌『日経 WOMAN』でのベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102